

別紙 蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表（令和7年度前期）

1 公表に向けた考え方

蘭越町教育委員会では、「学校における働き方改革蘭越町アクション・プラン（第3期）」において、教職員の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を1か月45時間以内、1年間で360時間以内とする目標を掲げています。

町立学校において、令和2年度に導入した出退勤管理システムにより把握した教育職員の超過在校等時間を定期的に公表し、働き方改革に関する取り組み状況を確認することにより、長時間勤務の縮減に向けた実効性を確保します。

2 町立学校教育職員の超過在校等時間の状況（教職員数 小学校32名※、中学校14名※）

区分	学校種別	超過在校等時間別人数			全職員平均
		45時間以下	45時間超	80時間超	
令和7年 4月	小学校(2校)	18人(56.3%) 19人(63.3%)	13人(40.6%) 11人(36.7%)	1人(3.1%) 0人(0%)	41時間30分 40時間49分
	中学校(1校)	4人(28.6%) 11人(68.8%)	7人(50.0%) 5人(31.2%)	3人(21.4%) 0人(0%)	56時間5分 40時間36分
令和7年 5月	小学校(2校)	23人(71.9%) 20人(66.7%)	9人(28.1%) 10人(33.3%)	0人(0%) 0人(0%)	38時間17分 38時間46分
	中学校(1校)	9人(64.3%) 12人(75.0%)	5人(35.7%) 4人(25.0%)	0人(0%) 0人(0%)	35時間17分 35時間45分
令和7年 6月	小学校(2校)	24人(75.0%) 23人(76.7%)	8人(25.0%) 7人(23.3%)	0人(0%) 0人(0%)	37時間29分 35時間24分
	中学校(1校)	7人(50.0%) 10人(62.5%)	7人(50.0%) 6人(37.5%)	0人(0%) 0人(0%)	44時間16分 43時間52分
令和7年 7月	小学校(2校)	24人(77.4%) 19人(63.3%)	6人(19.4%) 11人(36.7%)	1人(3.2%) 0人(0%)	35時間34分 36時間35分
	中学校(1校)	8人(61.5%) 11人(68.8%)	5人(38.5%) 5人(31.2%)	0人(0%) 0人(0%)	39時間02分 36時間29分
令和7年 8月	小学校(2校)	31人(100%) 30人(100%)	0人(0%) 0人(0%)	0人(0%) 0人(0%)	13時間01分 11時間27分
	中学校(1校)	12人(92.3%) 16人(100%)	1人(7.7%) 0人(0%)	0人(0%) 0人(0%)	16時間59分 13時間56分
令和7年 9月	小学校(2校)	26人(83.9%) 25人(83.3%)	5人(16.1%) 5人(16.7%)	0人(0%) 0人(0%)	31時間35分 31時間4分
	中学校(1校)	8人(61.5%) 11人(68.8%)	5人(38.5%) 5人(31.2%)	0人(0%) 0人(0%)	37時間58分 34時間18分

※ 下段は、前年同月の数値

<補足事項>

※7月以降、小学校 31 名、中学校 13 名

※教育職員とは、校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭等をいいます。

※在校等時間とは、教育職員が在校している時間を基本とし、校外で活動する時間を加え、自己研鑽その他業務外の時間及び休憩時間を除いた時間をいいます。

3 令和7年度前期における超過在校等時間の考察について

小学校では、平均超過在校時間が前年より増加しているものの、月 45 時間以下の職員の割合は 4 月、6 月を除き増加しており、職員会議の開催軽減や業務の効率化などの効果が昨年度に引き続き現れているとみられます。

蘭越中学校においては、すべての月で 45 時間以下の職員の割合が減少し、5 月を除いて平均超過在校時間も増加しており、前年度から教員が 3 名減少し、職員個々に係る業務負担が増しているものとみられます。

また、特定の職員が大きく超過している状況が続き、月 80 時間を超過した職員もいることから、引き続き、意識改革や業務の平準化に向けた対策が必要となります。